

体験学習をどうぞ 037

2023. 2. 5 (日)

【中学2年数学】

連立方程式

二元一次方程式の問題

きょうの体験問題です。

◇ 《二元一次方程式と解の意味》

$$2x + y = 8 \quad \dots \textcircled{1}$$

x と y が正の整数のとき、上の等式を成り立たせる x と y の組を求めなさい。

フロローグ

問題を読んで、式を立てると、

$$2x + y = 8$$

のように式が1本しか立てられない問題です。

賢そうに見える生徒は

「未知数が2つなのに、式が1本しか立てられないから、こりゃ、解けんわな！」
とほざいて、投げます。

二元一次方程式

賢い生徒は、数専ゼミの「連立方程式」のNo.1～4のプリントをめくりかえして、

「単元の最初にやって問題じゃないか、
表をつくって、問題の条件に合う組合せをさがせばいいんだよ。

答は、いくつかの組で出てくるはずだ。」

とおっしゃいます。

もちろん、ただちに表作りに入ります。

ふつ～の生徒は、賢い生徒に追随します。

賢い生徒が出てこない場合は、
先生が”賢い生徒”の代弁をします。

異端だが入試頻出！

連立方程式としては異端の問題ですが、
異端が好きな入試としては頻出する問題となります。
ま、じっくりと取り組む必要のある”骨のある”問題といえます。
数専ゼミの授業では、連立方程式の文章題の最後の”華”として
この問題を取り上げます。

たとえば、二元一次方程式の文章題は、入試問題としては、次のような形で出題されます。
◇《2元1次方程式の文章題》

A君、B君の2人がじゃんけんをするとき、あいこの場合も1回と数えることにし、
1回ごとの得点を勝った方は3点、負けた方は-1点、あいこの場合は2人とも1点と
それぞれ決めた。

じゃんけんを10回するとき、A君の得点の合計が18点になった。
あいこがある場合、A君の勝った回数を求めなさい。求め方も書くこと。



中2数学・連立方程式 No.39

5 二元一次方程式

体験学習

■ 組合せによって解を求める ■

【注】スマホの機種によっては、体験学習へのリンクができないものがあります。その場合には、PCでご覧下さい。

■ 演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます。

■ 「中2数学・連立方程式」★ 学習計画書 ★

([ブラウザのバック矢印](#)でこの文書に戻ることができます。)

連立方程式に強くなる数学専門指導の数専ゼミ

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp